

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
本製品は国内専用です。

ALPINE

アルパイン株式会社

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

TEL : 03-3779-0711 FAX : 03-3494-1767

電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面（FAXまたはハガキ等）をご利用ください。FAXは、24時間受付けております。

Designed by ALPINE Japan Printed in Japan (T) 68P11646Y24-A

ALPINE

MDA-5046

MDサウンド・フィールド・プロセッサ

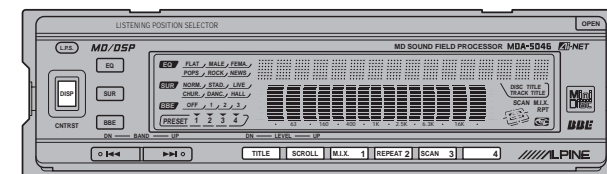
取扱説明書

検索には各ページ上部角のアイコンをお使いになると便利です。

	安全にお使いいただくために	2
	目次と基本操作	5
	MDを聴く	12
	イコライザーの操作	18
	サラウンドの操作	20
	BBEの操作	22
	L.P.S.の操作	23
	便利な機能	25
	リモコンで操作する	28



4i-NET



MDA-5046

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。
	Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示しています。		

本機は国内専用です。規格の違う外国では使用できません。
本機のお手入れは、乾いた布か強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナー類は、ケースが変質/変形しますので絶対に使わないでください。
夏期など車内の温度が高いときは、車内の温度を下げてから使用してください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

警告

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。

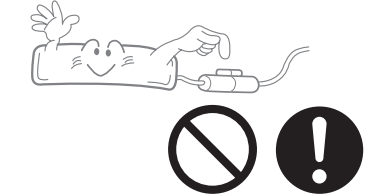


小物類は幼児の手の届かないところに保管する
小物類<電池・ネジなど>は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

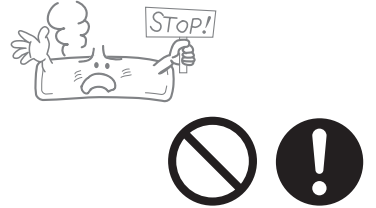


ヒューズ交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量(アンペア数)を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる
音が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常がございましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作すると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



安全にお使いいただくために



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

注意

通風孔や放熱板をふさがない

通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



車以外には使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



挿入口やすき間には異物を入れない

ディスクの挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。



運転の妨げになる操作は停車させてから行う

可動ディスプレイの開閉やディスクの出し入れ操作が運転(シフトレバー操作など)の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。



取り扱い上のご注意

「ミニディスクについて」(42ページ)も合わせてご覧ください。

ミニディスクの取り扱い

- 次の点を守ってお使いください。
- シャッターを開けない/内部にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る/ホコリやごみが付いたら拭きとる

結露にご注意

- 寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

- 路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。



安全にお使いいただくために

- 警告/注意3
- 目次5



基本操作

- スイッチの名称6
- 電源のON/OFF10
- 可動ディスプレイの開閉10
- コントラストの調整11



MDを聴く

- ミニディスクの挿入・取り出し12
- 演奏する13
- 曲の頭出しをする(ミュージック・センサー)14
- 曲の早送り/早戻しをする15
- 繰り返し聴く(リピート演奏)15
- 曲順を変えて聴く
M.I.X.(ミュージック・イン・クロスプレイ)16
- 曲の初め(イントロ)だけを聴く(スキャン)16
- タイトルを表示する17



イコライザーの操作

- イコライザー特徴(メーカー設定)を選ぶには18
- イコライザー(メーカー設定)パターンについては18
- 自分でイコライザー・カーブを作るには19



サラウンドの操作

- サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶには20
- サラウンドについて20
- サラウンド・レベル/タイムの調整21



BBEの操作

- BBEモードを選ぶには22



L.P.S.の操作

- リスニング・ポジションの合わせかた
L.P.S.(リスニング・ポジション・セクター)23
- リスニング・ポジションの調整24



便利な機能

- メーカー設定および自分で作ったカーブを記憶する25
- 記憶したカーブを呼び出すには26
- ディスプレイを切りかえるには26
- ディスプレイ表示パターン27



リモコンで操作する

- RUE-4185 / 4180 / 4160J / 4162で操作する28
- RUE-4185 / 4160J / 4162で操作する30
- RUE-4160J / 4162で操作する38
- リモコン操作一覧表39
- MDを操作する40

その他

- 接続するヘッドユニットの注意点41
- ミニディスクについて42
- 故障かな?と思ったら43
- 保証について45
- 規格46



MDを聴く

よく使う操作項目には「アイコン(絵表示)」がついています。アイコンは、各ページ上部の角にも載っていますので、検索するときにご利用ください。

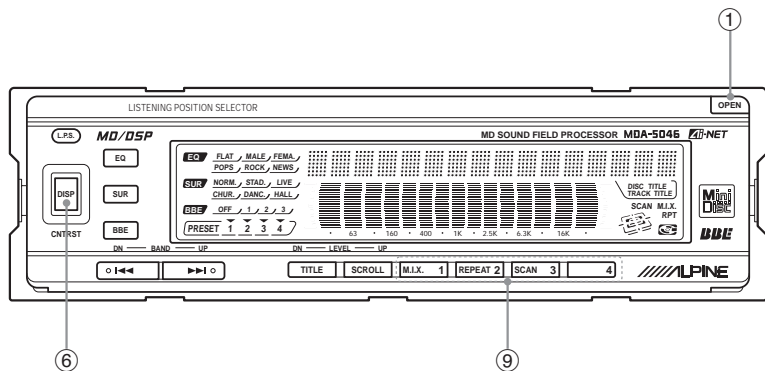
このページでは、ソースごとのスイッチの名称について説明しています。

MDは「MDを聴く」、イコライザーは「イコライザーの操作」、サラウンドは「サラウンドの操作」、BBEは「BBEの操作」、L.P.S.は「L.P.S.の操作」をご覧ください。



基本操作 (P.10~P.11)

便利な機能 (P.23~P.25)

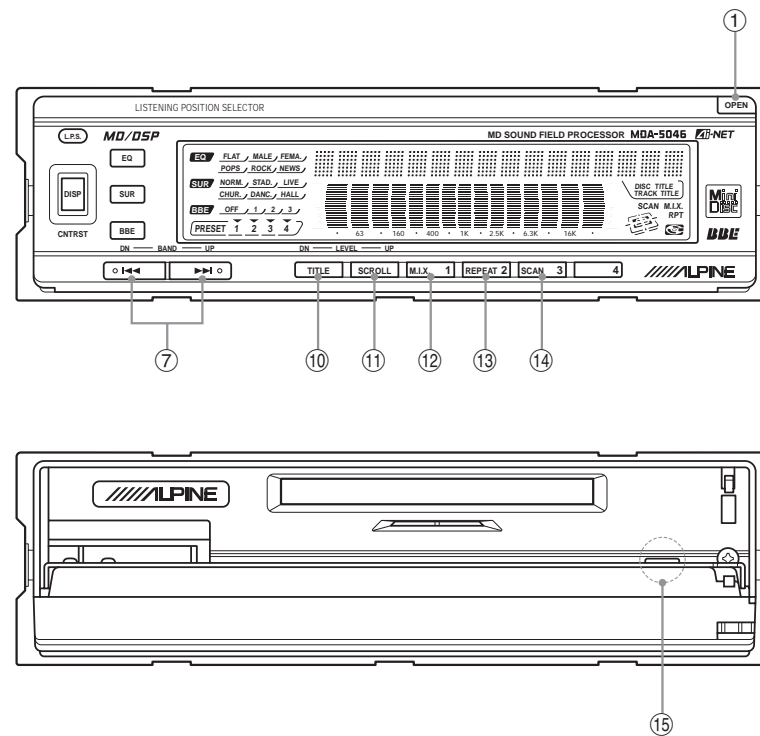


	基本操作	便利な機能
1	オープン・スイッチ	
6	コントラスト調整スイッチ	ディスプレイ切り替えスイッチ
9		メモリー・スイッチ

初めてお使いになるときは、コントラストの調整が必要です。11ページを参照してください。



MDを聴く (P.12~P.17)

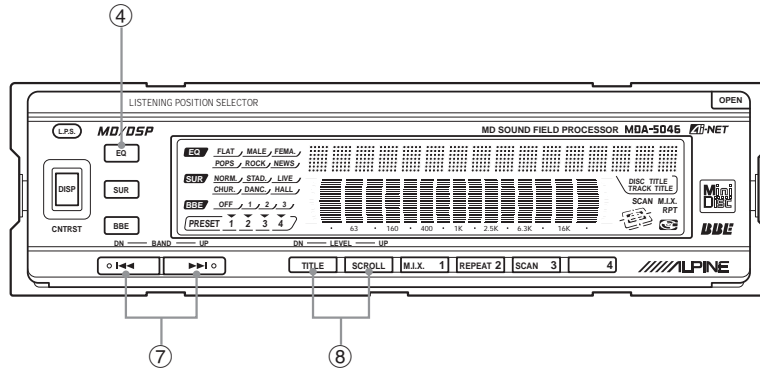


名 称	
1	オープン・スイッチ
7	ミュージック・センサー・アップ/ダウン・スイッチ 早送り/早戻しスイッチ
10	タイトル・スイッチ
11	スクロール・スイッチ
12	ミュージック・イン・クロスプレイ・スイッチ
13	リピート・スイッチ
14	スキャン・スイッチ
15	イジェクト・スイッチ

この製品はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

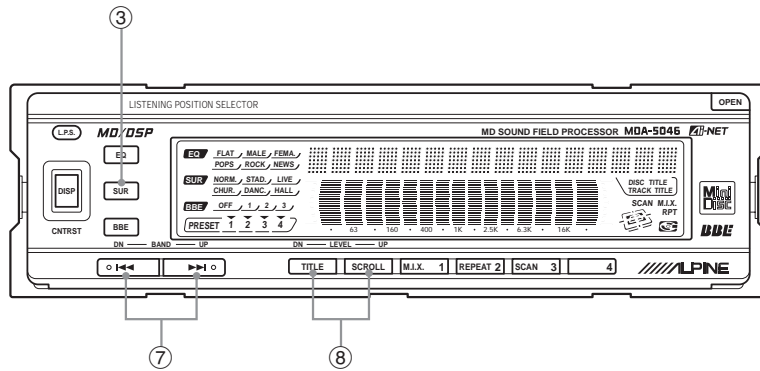


イコライザーの操作 (P.18 ~ P.19)



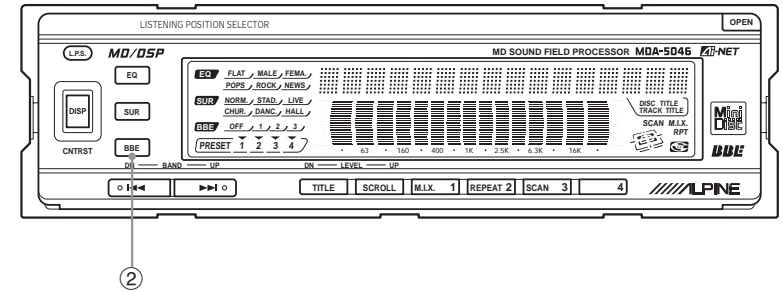
名 称	
4	イコライザー・スイッチ
7	周波数バンド・アップ/ダウン・スイッチ
8	レベル・アップ/ダウン調整スイッチ

サラウンドの操作 (P.20 ~ P.21)



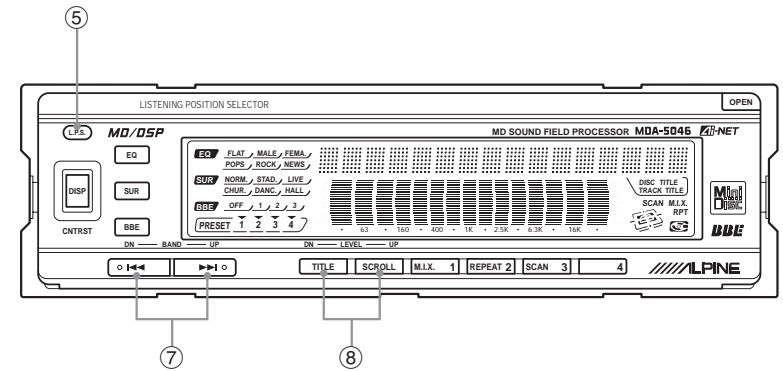
名 称	
3	サラウンド・スイッチ
7	タイム(残響時間)調整スイッチ
8	レベル調整スイッチ

BBEの操作 (P.22)



名 称	
2	BBEスイッチ

L.P.S.の操作 (P.23 ~ P.24)



名 称	
5	L.P.S.スイッチ
7	ポジション調整スイッチ
8	ポジション調整スイッチ



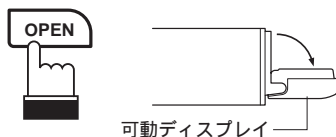
電源のON / OFF

本機の電源はヘッドユニットの電源をON/OFFすることにより切りかわります。

可動ディスプレイの開閉



- 1 オープン・スイッチを押します。
可動ディスプレイが開きます。



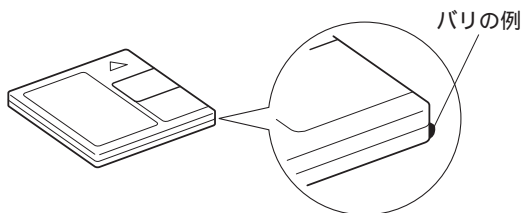
開いた可動ディスプレイを閉めるときには手で“カチッ”とロックするまで完全に閉めます。



可動ディスプレイが開いたとき、ディスプレイの上に物を置くなどの無理な衝撃を与えないでください。故障の原因になります。他のアルパイン製品と組み合わせる場合、各製品に添付されたマニュアルを理解してから操作してください。気温が低いときは、電源を入れた後しばらくディスプレイが暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

ミニディスクを挿入する前に

ミニディスクの外側を指で触って「バリ」が無いことを確認してから挿入してください。もし「バリ」があったときは、取り除いてから挿入してください。「バリ」を付けたまま挿入しますと動作不良や故障の原因になる場合があります。



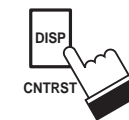
コントラストの調整



ドット・マトリクス表示部が見えにくいとき、コントラストを調整します。

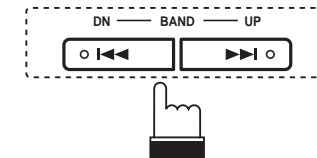


- 1 CNTRSTスイッチを2秒以上押します。



- 2 調整スイッチを押して、見やすくなるように調整します。

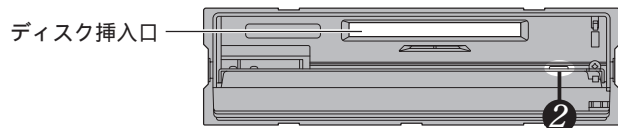
コントラスト調整は、-6~+6までの段階に調整することができます。調整が終わったら、CNTRSTスイッチを押してください。



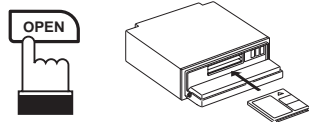
工場出荷時のレベルは、0に設定してあります。



ミニディスクの挿入・ 取り出ししかた



- 1 可動ディスプレイを開いてディスク挿入口にミニディスクを挿入します。ミニディスクは、図のようにラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。



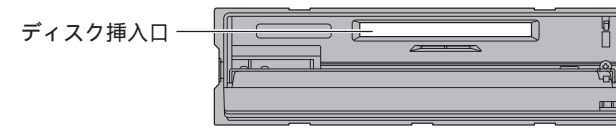
- 2 取り出すときは、イジェクト・スイッチを押します。



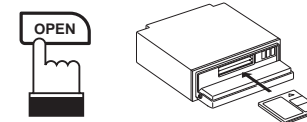
Memo

挿入できるミニディスクは一枚だけです。外側に付いたホコリやごみを落としてから挿入してください。重ね貼りしたラベル、はがれかかったラベルが付いたものは使わないでください。ミニディスクは自動的に引き込まれます。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。電源がOFFの状態でもミニディスクを挿入しないでください。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。


演奏する



- 1 可動ディスプレイを開いてディスク挿入口にミニディスクを挿入します。
- 2 可動ディスプレイを閉じます。ディスク・イン・インジケータが点灯します。



Memo

演奏中または、演奏準備状態のときは  インジケータが点灯します。

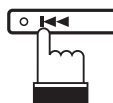


曲の頭出しをする (ミュージック・センサー)



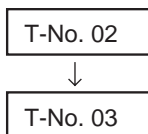
1 ◀◀ スイッチを軽く押します。
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。

演奏中の曲の頭出しをする場合。



2 ▶▶ スイッチを軽く押します。
次の曲の頭から演奏されます。聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。

次の曲の頭出しをする場合。

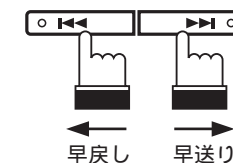


Memo 組み合わせて使用するヘッドユニットによって、この機能をヘッドユニット側から操作することができます。詳しくは販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

曲の早送り / 早戻しをする

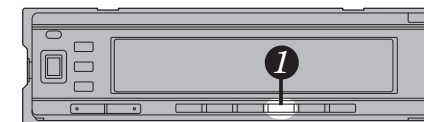


1 早送りスイッチまたは早戻しスイッチを押し続けます。
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。

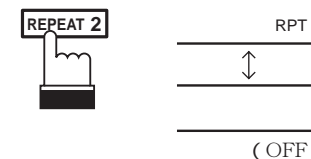


Memo 組み合わせて使用するヘッドユニットによって、この機能をヘッドユニット側から操作することができます。詳しくは販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

繰り返して聴く (リピート演奏)



1 聴きたい曲が演奏されているときに REPEAT スイッチを押します。
リピート・インジケータが点灯します。
選んだ曲を繰り返し演奏します。
解除するときは、再度押して、インジケータを消灯します。

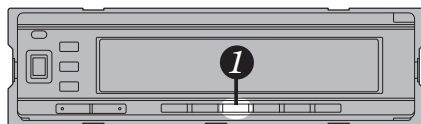


Memo 組み合わせて使用するヘッドユニットによって、この機能をヘッドユニット側から操作することができます。詳しくは販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

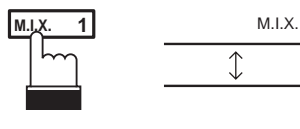


曲順を変えて聴く M.I.X.

(ミュージック・イン・クロスプレイ)

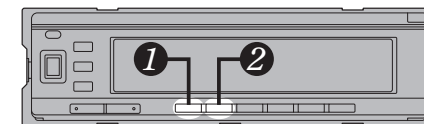


- 1 M.I.X.スイッチを押します。
M.I.X.インジケータが点灯し、ミニディスク中の曲が、順不同に演奏されます。解除するには、M.I.X.スイッチを再度押してインジケータを消灯させます。

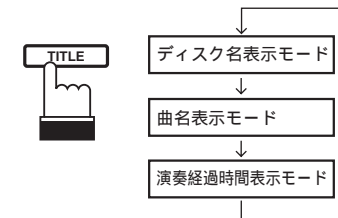


Memo 全曲の演奏が終わると、別の順序で演奏されます。組み合わせて使用するヘッドユニットによって、この機能をヘッドユニット側から操作することができます。詳しくは販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

タイトルを表示する

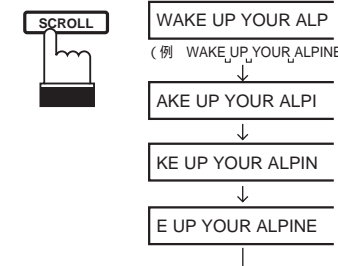


- 1 ミニディスク演奏中にTITLEスイッチを押します。
押すたびに表示モードが切りかわります。



- 2 ディスク名、曲名が長い(タイトル名が16桁を越える)場合は、SCROLLスイッチを押します。

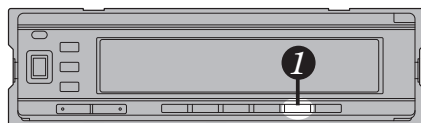
タイトルを1桁ずつスクロール表示をさせます。最終桁を3秒間表示した後、通常モードに戻ります。



Memo 録音/タイトル入力した機器によっては、本機で文字を正確に表示できない場合があります。ディスク名や曲名が記録されていない場合は、自動的に演奏経過時間を表示します。組み合わせて使用するヘッドユニットによって、この機能をヘッドユニット側から操作することができます。詳しくは販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

曲の初め(イントロ)だけを聴く SCAN

(スキャン)



- 1 SCANスイッチを押します。
SCANインジケータが点灯し、曲の初め(イントロ)だけが10秒間ずつ演奏されます。聴きたい曲が見つかったら、SCANスイッチを押して解除します。演奏中の曲から、通常の演奏に戻ります。



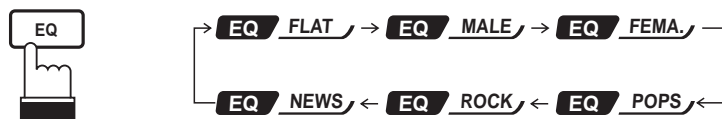
Memo 組み合わせて使用するヘッドユニットによって、この機能をヘッドユニット側から操作することができます。詳しくは販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。



イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶには



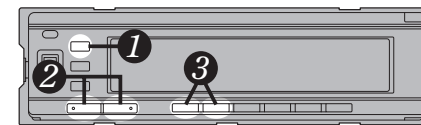
- 1** EQスイッチを押します。
押すたびにイコライザー・モード・インジケータが切りかわり、希望するイコライザー特性を選ぶことができます。
イコライザー・モードは、あらかじめ設定されている6種類 (FLAT、MALE、FEMALE、POPS、ROCK、NEWS) の中から選べます。



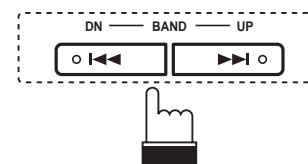
イコライザー(メーカー設定)パターンについて

パターン1	FLAT	パターン4	POPS
フラットな周波数		中域中心に全体を強調する	
パターン2	MALE(男性ボーカル)	パターン5	ROCK
高域をやや強調する		低域および高域を強調する	
パターン3	FEMALE(女性ボーカル)	パターン6	NEWS
高域をやや抑える		中域だけを強調する	

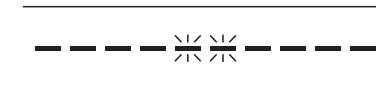
自分でイコライザー・ カーブを作るには



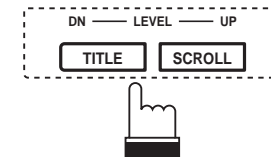
- 1** EQスイッチを押して、調整したいイコライザー特性を選びます。
EQインジケータが5秒間点滅します。
- 2** インジケータが点滅している間に周波数バンド・アップ/ダウン・スイッチを押して、調整したい周波数帯を点滅させます。



例(FLATの場合)



- 3** 点滅している間にレベル・アップ/ダウン調整スイッチを押して、お好みのレベルに調整します。
さらに別の周波数帯を調整するには上記手順を繰り返してそれぞれの調整を行います。



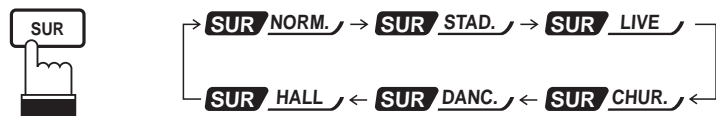
解除するには、EQスイッチを押して、イコライザー(メーカー設定)パターンを選んでください。



サラウンド・モード (メーカー設定) を選ぶには



- 1** SURスイッチを押します。
押すたびにサラウンド・モード・インジケータ
が切りかわり、希望するモードが選択できます。
サラウンド・モードは、あらかじめ設定され
ている6種類(NORMAL、STADIUM、LIVE、
CHURCH、DANCE、HALL)の中から選べます。



サラウンドについて

本機は、DSP(デジタル・シグナル・プロセッシング)を使って様々な音響空間を作り出すことができます。色々な音楽ソースに応じて6種類のサラウンドモードを選ぶことができます。

NORMAL (FLAT)

サラウンドモードは動きません。



CHURCH

天井が高く反響の多い大きな教会の音場を作り出します。



STADIUM

屋外スタジアムの音場を作り出します。



DANCE

適度な反響でダンスホールの音場を作り出します。



LIVE

少ない反響で小さなコンサートホールの音場を作り出します。

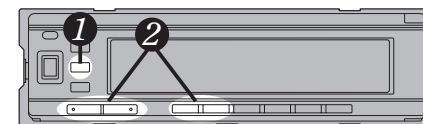


HALL

音の反響によって大きなコンサートホールの音場を作り出します。



サラウンド・レベル/ タイムの調整

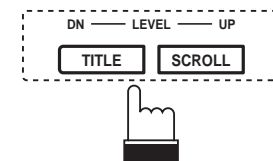


- 1** SURスイッチを押します。
調整したいサラウンド・モード(NORMAL以外)
を選びます。SURインジケータが5秒間点滅し
ます。



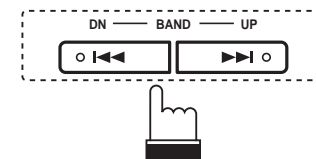
- 2** インジケータが点滅している間に、
レベル・アップ/ダウン調整スイッチ
を押してお好みのサラウンド・レベル
に調整します。

サラウンド・レベルは、-4~+4までの段階に
調整することができます。



- 周波数バンド・アップ/ダウン・スイ
ッチを押してお好みのサラウンド・タ
イム(残響時間)に調整します。

サラウンド・タイムは、-4~+4までの段階に
調整することができます。





BBEモードを選ぶには

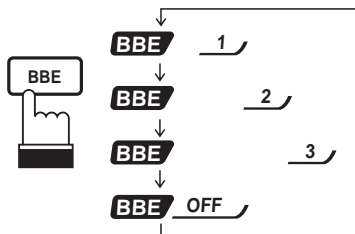


内蔵のBBE(Barcus Berry Electronics)は、楽器や音本来の音響バランスを補正するサウンド・プロセッサーです。スピーカーから出る音は、倍音成分が出にくく位相ズレも発生します。これらを補正することにより、サラウンドを超える臨場感を再現します。イコライザー/サラウンドを調整した上で、BBEによる補正をおこなえば音場空間の再現により効果的です。



1 BBEスイッチを押します。

押すたびにBBE1、BBE2、BBE3、BBE OFFの順に切りかわります。BBEの効果は、BBE1が最も大きく、BBE2、BBE3の順で小さくなります。



リスニング・ポジションの合わせかた



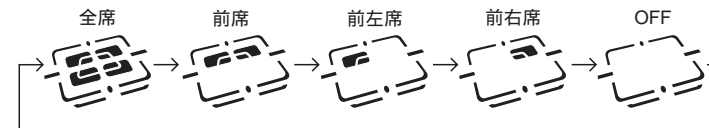
L.P.S.(リスニング・ポジション・セレクター)

車内の各座席のポジションに応じて、最適な音場を選択することができます。



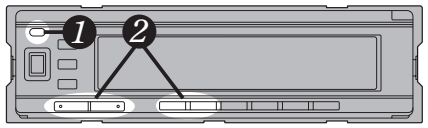
1 L.P.S.スイッチを押します。

押すたびに車の座席を順次選択します。インジケータは、座席の位置を表示します。





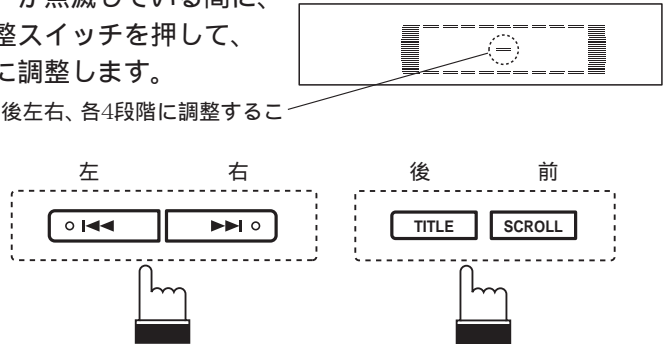
リスニング・ポジションの調整



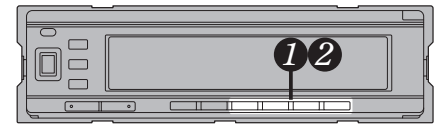
1 L.P.S.スイッチを押します。
調整したいリスニング・ポジション(OFF以外)を選びます。インジケーターが5秒間点滅します。



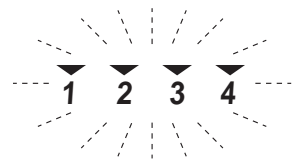
2 インジケーターが点滅している間に、ポジション調整スイッチを押して、好みの位置に調整します。
このポイントを前後左右、各4段階に調整することができます。



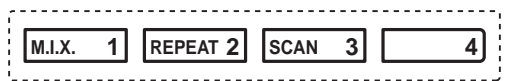
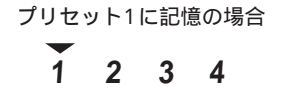
メーカー設定および自分で作ったカーブを記憶する



1 メーカー設定を選ぶか、または自分でカーブを作った後、(5秒間の間に)メモリー・スイッチのいずれか1つを2秒以上押します。
プリセット・インジケーターが点滅し、5秒間記憶可能状態になります。



2 点滅している間にメモリー・スイッチを押します。
これで選んだカーブが記憶されます。
さらに記憶するには上記手順を繰り返します。



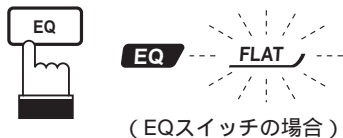
便利な機能



記憶したカーブを呼び出すには



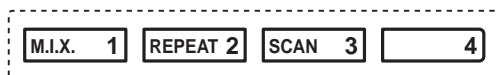
- 1** EQ/SUR/BBEスイッチのいずれかを押してインジケータを点滅させます。インジケータは5秒間点滅します。



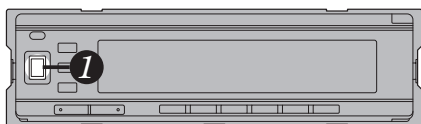
- 2** 点滅している間に呼び出したいいずれか一つのメモリー・スイッチを押すとお好みの特性が得られます。

プリセット1を呼び出した場合

1 2 3 4



ディスプレイを切りかえるには



- 1** DISPスイッチを押します。グラフィック・デザインのパターンの中からお好みの表示パターンを選びます。押すたびに表示パターンが切りかわります。



ディスプレイ表示パターン

パターン	表示	パターン	表示
1	EQパターン表示 	6	ブロック・パターン表示
2	スペアナ表示 	7	ミラー・パターン表示
3	ピーク・ホールド表示 	8	スペアナ2段表示
4	ピーク値上昇表示 	9	スキャン表示 (パターン2~8までエンドレスで5秒毎に繰り返します。)
5	“i”の字パターン表示 		

便利な機能



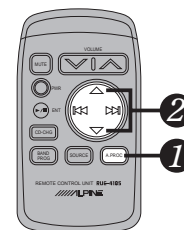
RUE-4185 / 4180 / 4160J / 4162で操作する

リモコンからの操作では...

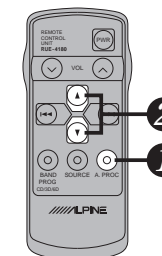
組み合わせて使用する製品によって、一部の機能・表示が限定される場合があります。
「P.39 / リモコン操作一覧表」をご覧ください。



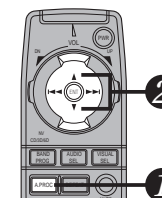
本文中の表示は、ヘッドユニット側のものです。
各操作は5秒以内に行ってください。



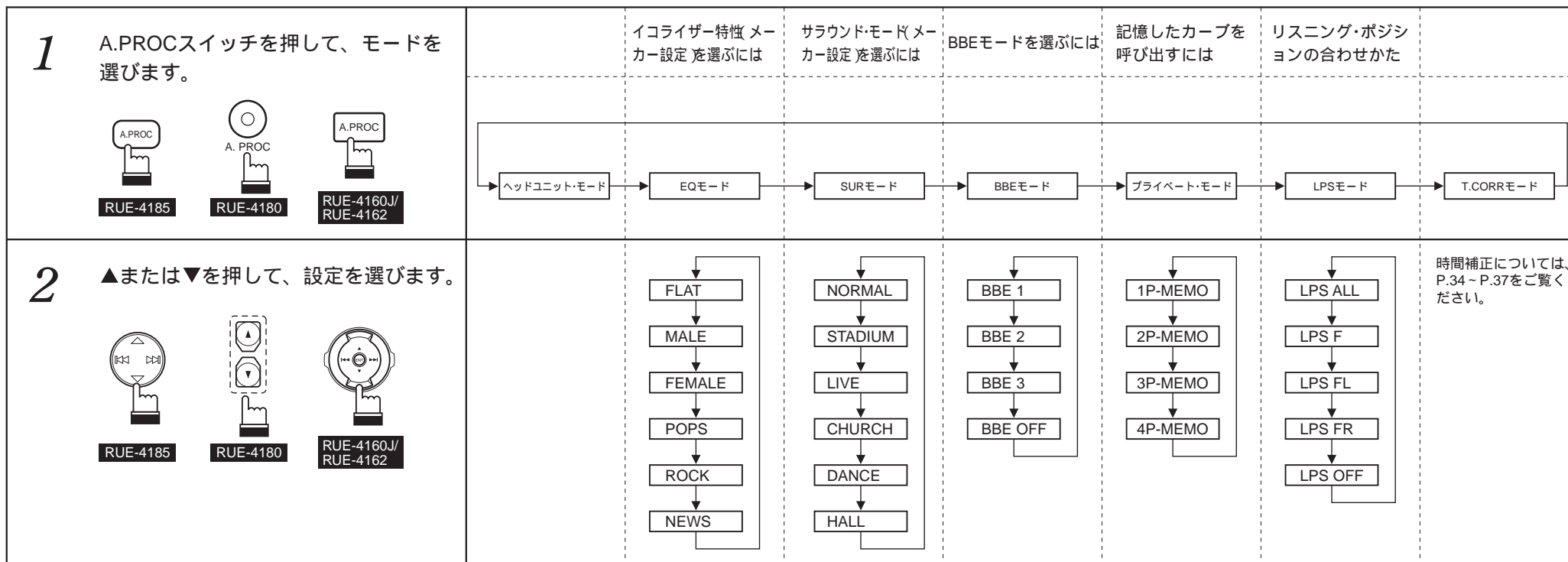
RUE-4185



RUE-4180



RUE-4160J/
RUE-4162



警告

運転中は操作をしない・表示を見ない

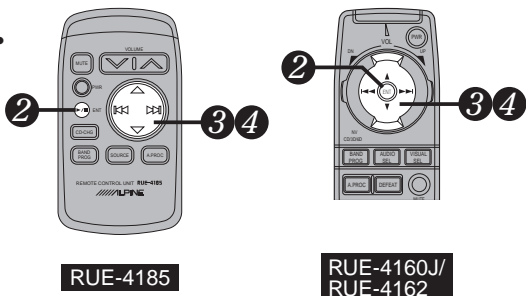
運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。

リモコンで操作する



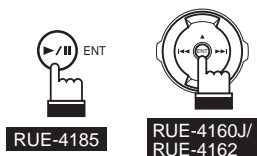
ここからの操作は、リモコン(RUE-4185 / RUE-4160J / RUE-4162)で操作することができます。

自分でイコライザー・カーブを作るには



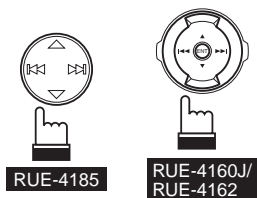
1 「P.28-P.29 / イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶには」の操作で調整したいイコライザー特性を選びます。

2 ENTスイッチを押すと周波数表示が5秒間表示されます。



63 ±0

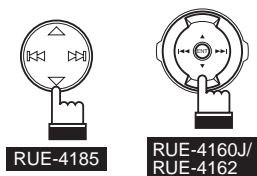
3 表示している間に◀◀または▶▶を押して調整したい周波数を表示させます。周波数は5秒間表示されます。



2.5K ±0

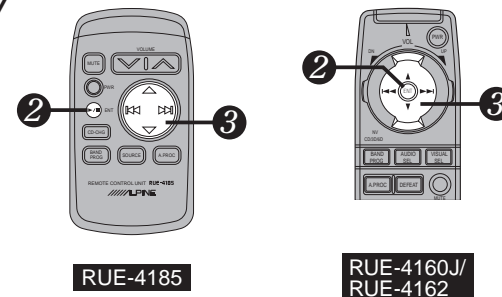
4 表示している間に▲または▼を押して好みのレベルに調整します。

さらに別の周波数を調整するには上記手順を繰り返して調整を行います。



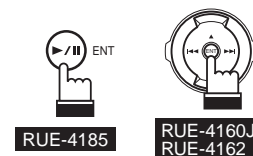
2.5K +6

サラウンド・レベル/タイムの調整



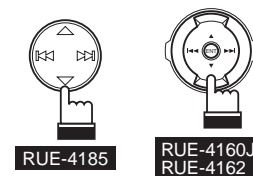
1 「P.28-P.29 / サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶには」の操作で調整したいサラウンド・モード(NORMAL)以外を選びます。

2 ENTスイッチを押すと5秒間サラウンド調整モードになります。



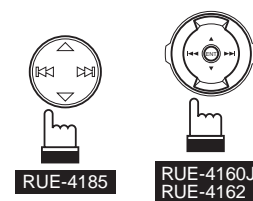
SR LEVEL ±0

3 表示している間に▲または▼を押して好みのレベルに調整します。



SR LEVEL +3

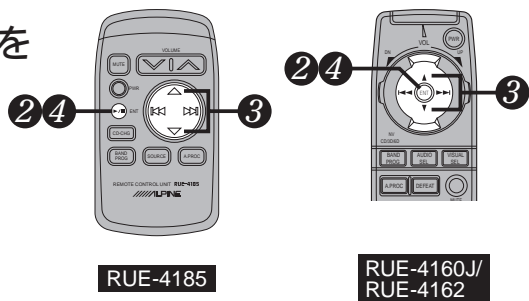
◀◀または▶▶を押すことで、サラウンド・タイムを調整することができます。



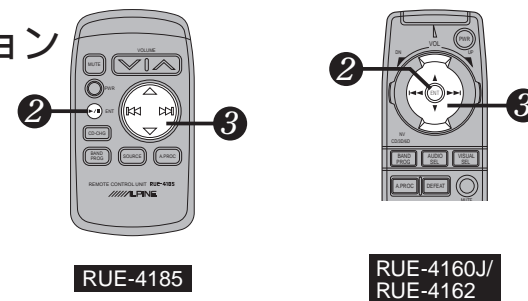
SR TIME -3



自分で作ったカーブを記憶するには



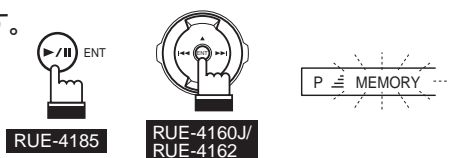
リスニング・ポジションの調整



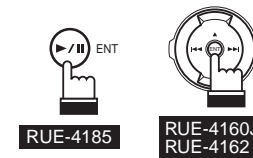
1 「P.30 / 自分でイコライザー・カーブを作るには」の操作でイコライザー・カーブを作ります。

1 「P.28-P.29 / リスニング・ポジションの合わせかた」の操作で調整したいリスニング・ポジションを選びます。

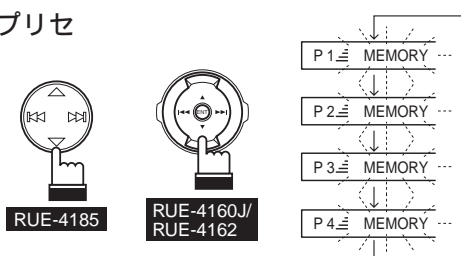
2 ENTスイッチを2秒以上押します。



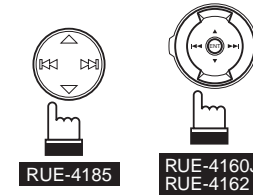
2 ENTスイッチを押すと5秒間LPS調整モードになります。



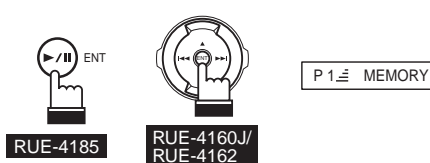
3 ▲または▼を押して記憶したいプリセット1~4を選びます。



3 ▲、▼または◀▶を押して、好みの位置に調整します。



4 ENTスイッチを押します。これでカーブが記憶されます。さらに記憶するには上記手順を繰り返します。



各操作は5秒以内に行ってください。



時間補正について

車室という特殊な条件であるために、リスニング・ポジションとスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。そのため音が耳に到達するまでに時間差が生じ、音像定位が悪くなったり、周波数特性が悪化したりします。そこで、時間補正を行いスピーカーに適切なタイミングで信号を送ることにより、リスニング・ポジションでの時間差を取り除きます。

時間補正の算出方法

1. リスニング・ポジション(運転席など)に座り、頭の位置と各スピーカーの距離(m)を測定します。
2. 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出します。
 $L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$
3. スピーカーごとに算出した距離を音速(350m/sec)で割ります。その値が各スピーカーの時間補正值となります。

値の入力方法は、次のページを参照してください。

$$\text{時間補正值 (msec)} = L \div 350 \times 1000$$

この値を、スピーカーの数だけ算出します。

具体例

右イラストのフロント右側ツイーターの時間補正值を算出する。

条件

一番遠いスピーカーの距離.....2.25m
(たとえば、左側リア・スピーカー)

フロント右側ツイーターの距離.....0.5m

算出

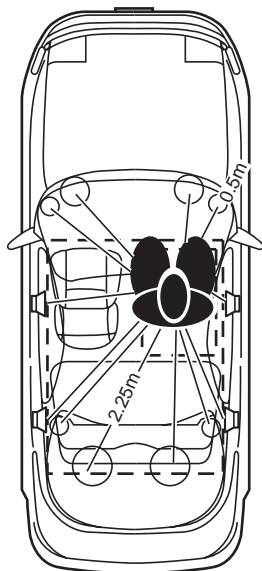
$$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$$

$$\text{補正時間} = 1.75 \div 350 \times 1000 = 5(\text{msec})$$

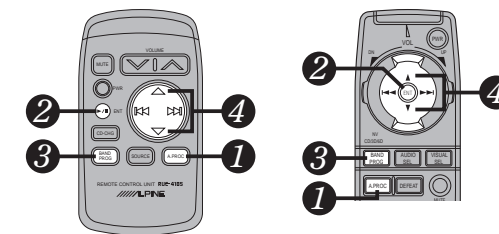
フロント右側ツイーターの時間補正值.....

5(msec)に近い値に設定します。

(例: この場合、5.0mSに設定します。)



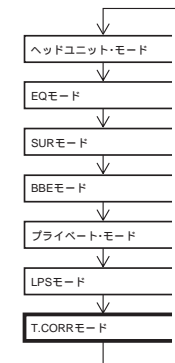
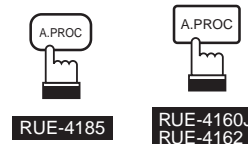
時間補正值の調整



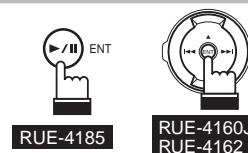
RUE-4185

RUE-4160J/
RUE-4162

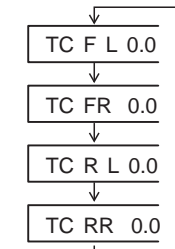
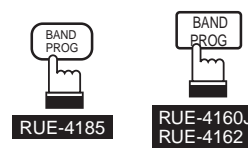
- 1 A.PROCスイッチを押してT-CORRモードを選びます。



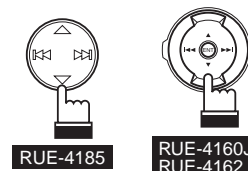
- 2 ENTスイッチを押すと動作を開始しディスプレイには時間補正值が5秒間表示されます。



- 3 BAND PROGスイッチを押し、調整するチャンネルを選びます。



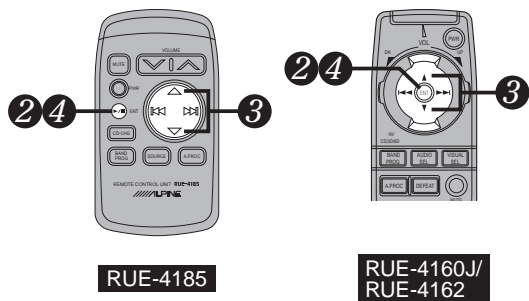
- 4 ▲または▼を押し、時間補正值を調整します。次の帯域に進むには3~4を繰り返します。



リモコンで操作する

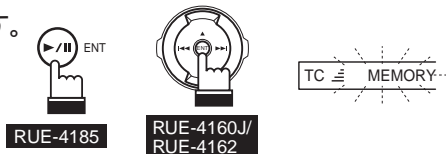


時間補正値を記憶するには

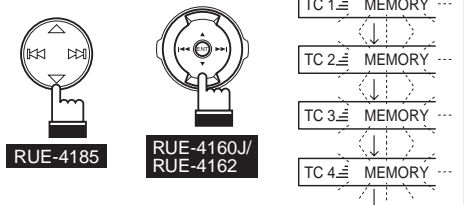


1 「P.35 / 時間補正値の調整」の操作で時間補正値を作ります。

2 ENTスイッチを2秒以上押します。



3 ▲または▼を押して記憶したいプリセット1~4を選びます。



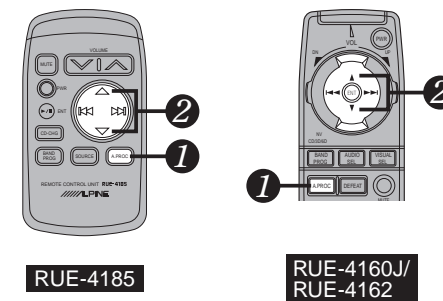
4 ENTスイッチを押します。
これで時間補正値が記憶されます。
さらに記憶するには上記手順を繰り返します。



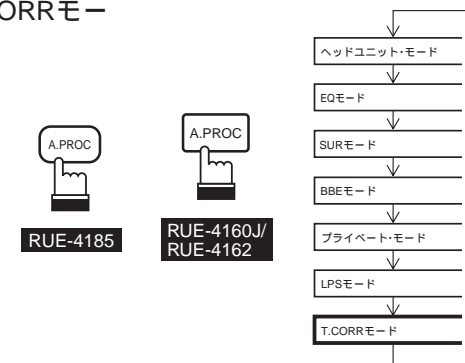
各操作は5秒以内に行ってください。



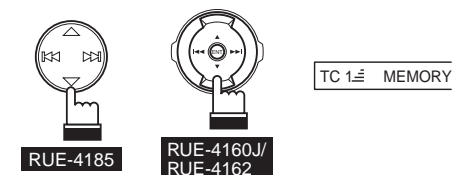
記憶した時間補正値を呼び出すには



1 A.PROCスイッチを押してT-CORRモードを選びます。



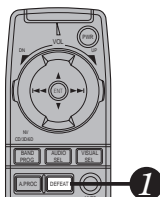
2 ▲または▼を押して記憶した時間補正値1~4を選びます。





ディフィートのON/OFF

ディフィートのON/OFFは、リモコン(RUE-4160J/RUE-4162)で操作可能です。



RUE-4160J/
RUE-4162



- 1 DEFEATスイッチを押します。
BBE / サラウンド回路を bypass せず直接ライン出力します。イコライザーはフラットの状態になります。解除するには再度DEFEATスイッチを押します。

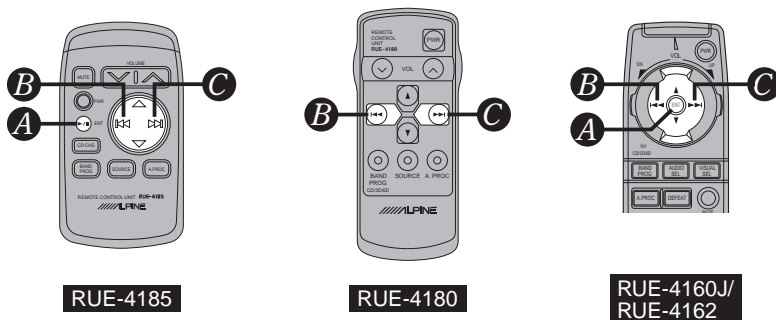
リモコン操作一覧表

リモコン	RUE-4185		RUE-4180	RUE-4160J	RUE-4162
モデル名	CDA-7848J	CDA-7847J CDA-7845J TDA-7555J TDA-7550J	CDA-7843J CDA-7841J 3DA-7885J TDA-7556J TDA-7552J	TDA-7558J TVA-T026	CDA-7949J
操作項目					
イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶには	○	○	○	○	○
サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶには	○	○	○	○	○
BBEモードを選ぶには	○	○	○	○	○
記憶したカーブを呼び出すには	○	○	○	○	○
リスニング・ポジションの合わせかた	○	○	○	○	○
自分でイコライザーカーブを作るには	○			○注1	○
サラウンド・レベル/タイムの調整	○			○注1	○
自分で作ったカーブを記憶するには	○			○注1	○
リスニング・ポジションの調整	○			○注1	○
時間補正値の調整	○			○注1	○
時間補正値を記憶するには	○			○注1	○
記憶した時間補正値を呼び出すには	○			○	○
ディフィートのON/OFF				○	○

注1：TVA-T026は、この機能は使用できません。

上記以外のAi-NET対応製品(ヘッドユニット・リモコン)と組み合わせる場合は、一部の機能・表示が限定される場合があります。

リモコンで操作する



- A** プレイ/ポーズ・スイッチ
プレイ/ポーズの切りかえを行います。
- B** ミュージック・センサー・スイッチ
曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。
手前の曲の頭出しを行います。
- C** ミュージック・センサー・スイッチ
次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。

リモコン操作一覧表

リモコン	RUE-4185		RUE-4180	RUE-4160J	RUE-4162
モデル名	CDA-7848J	CDA-7847J CDA-7845J TDA-7555J TDA-7550J	CDA-7843J CDA-7841J 3DA-7885J TDA-7556J TDA-7552J	TDA-7558J	CDA-7949J
操作項目					
プレイ/ポーズ	○	○		○	○
曲の頭出しをする	○	○	○	○	○
曲の早送り/早戻しをする	○	○	○	○	○

接続するヘッドユニットの注意点(および制限事項)

	MDA-5046底面のシステム切り替えスイッチの位置	注 意 点
TVA-T026	“ 1 ”	「CDモード画面」が表示されます。また、MDをEJECTしても「CDモード画面」はPLAY状態を表示しています。(MDモードのとき)
TDA-7558J	“ 1 ”	TITLEスイッチを3秒以上押すと、タイトル入力モードになりますが、タイトルはメモリーされません。(MDモードのとき) 「3D」と表示されます。(MDモードのとき)
TDA-7556J TDA-7552J	“ 1 ”	TITLEスイッチを3秒以上押すと、タイトル入力モードになりますが、タイトルはメモリーされません。(MDモードのとき)
CDA-7843J CDA-7841J	“ 1 ”	TITLEスイッチを3秒以上押すと、タイトル入力モードになりますが、タイトルはメモリーされません。(MDモードのとき) 「Shuttle」インジケータが点灯したままになります。(MDモードのとき) 「D1」と表示されます。(MDモードのとき)
3DA-7885	“ 2 ”	CDシャトルおよび3Dシャトルは使用できません。 「D1」と表示されます。(MDモードのとき)
CDA-7847J CDA-7845J	“ 1 ”	「Shuttle」インジケータが点灯したままになります。(MDモードのとき) 「D1」と表示されます。(MDモードのとき)
TDA-7638J TDA-7537J TDA-7536J CDA-7835J	—	MDA-5046と組合せてのご使用はできません。

上記以外のAi-NET対応ヘッドユニットと組み合わせる場合は、一部の機能・表示が限定される場合があります。

ミニディスクとは

カートリッジの中に直径64mmのディスクが収められたもので取扱性に優れています。ディスクに触れずに信号を読み取りますので、テープのように絡んだり音質が劣化することがありません。記録方式はATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding)と言う圧縮技術を利用して音楽データを約1/5にしてありますが、CDに迫る音質を実現しています。

取り扱い

ミニディスクはカートリッジに収納されているためホコリや指紋が付く心配がありません。ただし、カートリッジの汚れがすき間から入ったり、正しい取り扱いをしないと誤動作の原因になることがありますので、次のことを守ってお使いください。

- シャッターを開けない
- 内部にさわらない
- ホコリやごみが付いたら拭きとる
(外側や裏面中央の円形部)
- 直射日光下に置かない
- 砂やホコリが入りやすい場所には置かない
- ラベルは正しい位置に貼る
- ラベルは一枚だけ貼る
- ラベルははがれないように貼る
- 聴かないときはケースに入れて保管する



本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。それでも調子が悪いときは、お買上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

症状	原因	処置
動作しない。 ディスプレイに何も表示されない。	車のイグニッション・キーがOFFになっている。	車のイグニッション・キーをONにする。
	本機の電源が入っていない。	車のイグニッション・キーをONにし、ヘッドユニット側のPWRスイッチを押して、電源を入れる。
	バッテリー電源コードの接続が不完全。	可動ディスプレイを開いてから、バッテリー電源コードの接続を確実にを行う。
	ヒューズが切れている。	可動ディスプレイを開いてから、規定容量のヒューズと交換する。
電源は入るが音が出ない。	入力PINコネクターが接続されていない。	入力PINコネクターの接続を確実にを行う。
	ヘッドユニット側の音量レベルが最小になっている。	ヘッドユニット側の音量を上げる。
ミニディスクが入らない。	すでに別のミニディスクが入っている。	ミニディスクを取り出してから入れ直す。
	ミニディスクの入れかたが間違っている。	本書を参照し、正しく入れる。
振動で音が飛ぶ。	本機が正しく取り付けられていない。	正しく取り付け直す。
振動がないのに音が飛ぶ。	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。	ディスクを交換する。
演奏が始まらない。	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。	ディスクを交換する。
	結露している。	しばらく放置してから使う。

ご注意

ヘッドユニット側でリセットをする場合には、本機の可動ディスプレイを開いてから、ヘッドユニットのリセット・スイッチを押してください。

症 状	原 因	処 置
No Disc	ミニディスクが入っていない。	ミニディスクを入れる。
ERROR PUSH EJECT	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。	イジェクト・スイッチを押して、 ディスクを交換する。
	ディスクの方向が間違っている。	イジェクト・スイッチを押して、 正しい向きに入れ直す。
	結露している。	しばらく放置する。
	メカニズムエラー。	①イジェクト・スイッチを押して、 ディスクを取り出す。 イジェクトできないときはサ ービスショップへ。 ②ディスクを取り出してもエラ ー表示が消えない場合は、も う一度イジェクト・スイッチ を押す。何度押してもエラー 表示が消えない場合はサービ スショップへ。
High Temp.	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いとき.....まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪いとき...保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買
い上げ店、または添付の“サービス・ショップのご案内”に
あるお近くのサービス・ショップに、修理を依頼してください。

保証期間中の修理.....保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保
証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理.....修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で
修理させていただきます。

補修用性能部品.....製造打切り後でも、最低6年間保有しています。

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはサービス・
ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

< MD部 >

S/N比90dB
全高調波歪率0.01%以下(1kHz)
チャンネル・セパレーション85dB以上
ワウフラッター測定限界以下

< イコライザー部 >

バンド数7
イコライザー周波数63Hz/160Hz/400Hz/1kHz/2.5kHz/6.3kHz/ 16kHz (各 ±12dB)

< 一般 >

使用電源DC14.4V(動作範囲; 11 ~ 16V)
アース方式⊖アース
周波数特性(+0、 -1dB) 10Hz ~ 50kHz
S/N比95dB以上
外形寸法178(幅) × 50(高さ) × 147(奥行)mm
重量1.3kg

< 付属品 >

品名	数量
取り付け用部品類	1式
取扱説明書・保証書類	1式

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。